

令和5年度

徳島市入田中学校 「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 朝の読書や委員会活動による読書活動の充実
- 個性や適性を生かした、きめ細かな指導による思考力・表現力を深める授業の実践
- 計画的な学習習慣の確立と、保護者との連携による家庭学習の充実

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員
教諭 高橋 綾	校長: 澤口 博之 3年主任: 高尾 みちよ 2年主任: 担任: 赤澤 文香 1年主任: わかば担任: 市山 恵 わかくさ担任: 門田 亮

校長

澤口 博之

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取り組みの状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○意欲的に学習に取り組むことができ、音読や発表などにも積極的な生徒が多い。 ○基礎的な内容はほぼ理解できており、説明的な文章などの読み取り問題の正答率も高い。 ●長い文章を正確に読み取ったり、情報量が多い問題を身に付けた知識と関連付けたりすることに課題がある。	・基礎的・基本的な内容の習得に意欲的に取り組むことができる。 ・読書活動により語彙数が増え、正しい言葉で文章を読んだり書いたりすることができる。	・図書委員会の活動(ブックトーク等)により、読書活動の充実を図る。 ・各教科におけるTT指導や放課後の補充学習(チャレンジタイム等)により、基礎的な内容の定着を図る。 ・相互参観授業を通して、指導力の向上を図る。 ・生徒が興味関心をもって学習に取り組むことができるよう発問や資料の提示など教材研究、ICTを有効活用する。 ・小テストやミライシードなどを活用し、分かる喜びを実感させる。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○積極的に自分の意見や考えを発表することができる。 ○話し合いなどの活動では友達の意見を聞き、素直に自分にいかそうとすることができる。 ●自分の考えを言葉で論理的に表現することに課題がある。 ●資料やグラフを読み取ったり、比較したりして条件に即して記述することに課題がある。	・目的に応じて、情報を整理しながらまとめ、論理的に伝えることができる。 ・各教科で学習したことを、実生活でも役立てようとする姿を見ることができる。 ・人の意見を取り入れ自分の考えを深めることができる。	・各教科において、文章を書く機会を増やし、条件にあった表現力を身につけさせる。 ・学習形態(グループ、ペア等)を工夫し、論理的に考えるような、話し合いや発表の場面を設ける。 ・授業の中に話し合いや教え合いの場面を設け、必要に応じてタブレットを使いながら、自分の考えを他者に伝えたり、他者の意見を聞いたりする機会をつくる。 ・相互参観授業を通して、指導力の向上を図る。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○疑問に思ったことに対し、積極的に発言や質問をすることができる。 ○学校のきまりを守り、真面目な態度で、授業に取り組むことができる。 ●家庭学習の習慣や、学習内容の定着に課題がある生徒がいる。	・生徒一人一人が課題や進路に向けて、目的意識を持ち、計画的で自主的な学習を進めていくことができる。 ・自分の学習方法を確立することができる。	・学習委員会の活動により、家庭学習の充実を図る。 ・補充学習(チャレンジタイム)を行い、学習を支援する。 ・教員と生徒が情報を共有し、保護者との連携を図りながら計画的な家庭学習につなげる。			

令和5年度 学力向上ロードマップ

